

篠浦塾 統合医療の真実

Vol.8

プロローグ

ー エビデンスレベルに頼らない治療法の評価と病気への適応ー

ドクター統合 こんにちは。今日はどうされましたか？

ミスター左脳 この度はお世話になります。今日ご相談したいのは、私たちのことではなく、実は私の父が最近認知症気味で、そのうえ母も癌を患ってしまったのです。

どうすればよいのかと、医療に関する情報を本や週刊誌やネットでできるかぎり調べてみたのですが、知れば知るほど迷ってしまいます。そこで、どのようにすれば両親の病気に効果がある治療法を見つけられるのか、正しい情報を教えていただければと思って伺いました。

ミセス右脳 特に母の癌については、主人は厳密なエビデンスがないとダメだと言って、西洋医療しか信用していないようなのですが、抗がん剤の副作用などを思うと、治療を受けさせるのは躊躇します。

お医者様の中には、患者には抗がん剤を使っているのに、いざ自分が癌になった時には使わない方も多いという話もよく聞きますし、もっと体に優しい治療はないのでしょうか。

ドクター統合 それは大変ですね。確かに今は情報が氾濫しすぎて、何が正しいのか、もしかすると医者でさえわからないというのが現状かもしれません。ましてや、医療においては素人である一般の皆さんに本当のことがわかるというのは不可能な気がします。

よくネットで知識を仕入れて自分で治療法を決めるという人がいますが、「生兵法は大けがの元」という諺のとおり、私にはそのような人ほど良くない治療に引っかかりがち印象があります。そういったことにならないためにも、今日は私が治療法に関してどのように考えているかをお話ししましょうね。

まず、ミスター左脳さんのおっしゃるように、西洋医療でよく言われるエビデンス（科学的根拠）レベルという話があります。エビデンスレベルとは、その研究の結果が、どれだけ偏りがなく一般的なものとして効果を認められるか、ということに関するレベルのことです。

ちょっと難しい話ですが、たとえば、いくら権威のある人がこの薬は効くという発言をしても、それはその人ひとりの主観が左右することなので、エビデンスレベルは低いということになります。一

方、一番エビデンスレベルが高いのは、一つの条件のみを変え、他はランダムに集めた2つのグループの結果の差をみて、その変えた条件が結果にどのような影響を与えているかを調べるランダム化比較試験を、さらに複数集めて結果をあわせて分析すること（メタ解析といいます）だといわれています。いまだに権威主義が横行する医療においては、たしかにこのエビデンスという見方は、いい治療法を決めるのには大いにプラスになります。

しかし、現場で実際医療をやっている私にとっては、この西洋的なエビデンスレベルが一番有用であり、それに基づいて治療法をすべて決めようとするやり方には、いくつかの問題点をはらんでいると思います。